

観客について、今回は
県内演劇部員・顧問（全ての上演を観劇可）
上演校生徒の同居家族（その学校の上演を観劇可）
とします。
（感染状況等の変化により変更もあり得る）

また、参加者・関係者・来場者について以下の方針で進めていますので、ご協力ください。

- ◆参加前に検温を実施し、37.5℃以上の発熱がある場合や異常がある場合は、会場への立ち入りを控え、自宅等で待機する。上演校で上記に該当する者が出た場合、代役・出場辞退等の対応を取る。
- ◆参加者・関係者・来場者はマスクを着用する。但し、上演中の役者を除く。
- ◆業務上やむを得ない場合を除き、他者と最低1m（出来れば2m）以上の距離をとり、密集状態を作らない。客席の前から数列は着席禁止とする。感染状況によっては、出場生徒と観客の動線・座席を分ける。
- ◆上演中以外は原則としてホールのドアを開放し換気を行う。感染状況によっては、上演中もドアを開放する措置が考えられる。
- ◆衣類、靴等個人の着用物は放置せず持ち帰る。また、個人が出したゴミ類は本人が持ち帰る。
- ◆こまめな手洗い・手指のアルコール消毒を行う。人の出入りが多い場所にはアルコール消毒液を設置する。他者と共有する物（扉、手すり、机・椅子等）はこまめにアルコール消毒を行う。アルコール消毒液は出来るだけ個人や出場校等団体でも準備する。
- ◆プログラム・チラシ・アンケート等は、手渡しを避けたり、アルコール消毒してから渡したりする。
- ◆物品販売、展示、意見交換会等の催し、メッセージボードの設置等については、感染防止対策を取りながら実施可能かどうか慎重に検討する。
- ◆少なくとも来場1週間について各自で健康観察をし、体調が優れない場合は来場を避ける。健康観察用紙の提出は求めない。
- ◆関係者や来場者に対して、ホームページ・配布物等を通して上記の内容について事前に周知する。